

## 協働推進のための場づくり

### 高知県

#### ○ 取組の概要

平成15年度から、協働や自治を推進する新しい取組として、「ぷらっとこうち」を官民協働にてスタート。身の回りのことや地域のことについて学んだり、考えたりする場を地域やwebサイト上に作ることを目指す。

#### ○ 高知県の概要



##### 高知県の概要

###### 県庁所在地

- 高知県高知市丸ノ内1-2-20

###### 人口

- 804,721人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

## ○ 取組について

---

### 1. 取組の背景

- ・ 高知県では、県民参加、県民主体の高知県づくりを目指して事業を実施。
- ・ その取り組みにおいて、平成 11 年度から 13 年度まで、県民の方に県の事業を作っていただく「県民参加の予算づくりモデル事業」を実施。
- ・ 平成 14 年度には、モデル事業に参加した県民と県職員による「前向きな検討会」を開催し、更なる「県民参加」や「協働」のあり方について検討。
- ・ そのなかでは、「いろいろな立場の人が知恵を持ち寄る場」や「民間や行政の垣根を越えて議論する場」が必要という多くの意見。
- ・ そうした声をきっかけに、官民間わず、県民みんなで支える、県民みんながより集える創造的な場として、平成 15 年 9 月に「ぷらっところち」を県庁とは独立した web サイト上にスタートさせた。

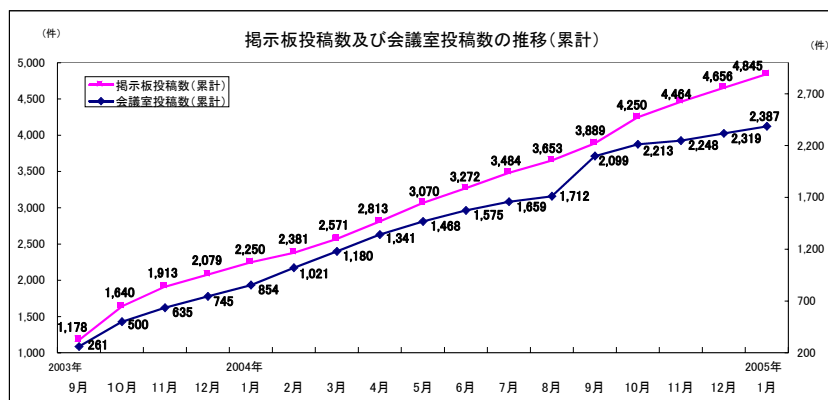
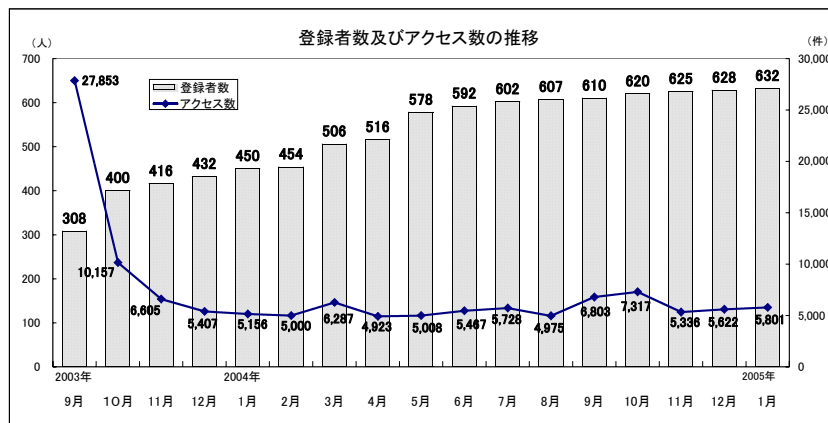
### 2. 取組の具体的内容

- ・ 目 的  
高知を良くしていこうとする人たちが、互いに知恵を持ち寄り、本音で議論を交わしながら、活力ある地域づくりを参加者相互の協働によって考え、実行していく場づくり
- ・ 構 成  
「ぷらっところち」はインターネットの掲示板や電子会議室等におけるコミュニケーション（バーチャル）と、地域社会における様々な実践活動（リアル）の双方で構成。バーチャルは、電子掲示板、電子会議室、地域活動報告、情報告知板及び投票場・アンケート場で構成。
- ・ 参加資格  
高知県に在住、通勤、通学、そして、高知県に関心のある人であれば誰でも参加可能。  
参加する場合には登録が必要だが、閲覧するだけの場合には登録の必要なし。
- ・ 運 営  
構想、立ち上げ、そして、運営までを県民有志と県が協働して実施。事務局は高知県総務部行政経営改革室に設置
- ・ 運営開始  
平成 15 年 9 月
- ・ 議題の種類  
電子掲示板は、「くらし」、「子育て／教育」、「まちづくり」、「高知を売り出

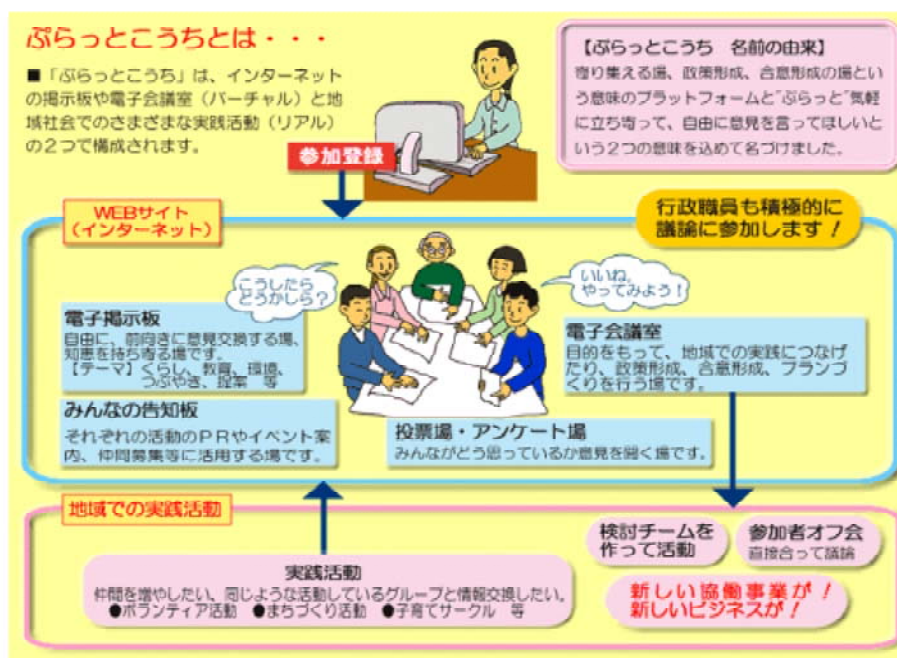
す」、「環境／自然」、「災害」、「つぶやき」、「提案」、「その他」の категорияがあり、参加者が事由に話題を提起できる。

電子会議室も特に議題の制約はなく、これまでに『子育て世代にパワーを!!』高野優講演会実行委員会、「高知西部跡地問題。」、「高知県子ども条例案へのご意見を」、「みんなでよくするぷらっとこうち」といった会議室などが開設されている。

・運営実績



## ・ぷらっとこうち概要図



(出典：「ぷらっとこうち通信創刊号」)

### 3. 取組にかかる事業費

年度	予算額 (千円)	支出内容
平成15年度	6, 489	システム開発、サーバー設置、情報誌発行等
平成16年度	2, 794	システム保守管理、サイトリニューアル、情報誌発行等
平成17年度	2, 147	システム保守管理、情報誌発行等

### 4. 取組の体制

#### ■ 県民有志と県が共同で運営

##### ・ 運営会議

会社員や自営業者等からなる 15 名の委員により構成

主な役割は必要なルールの制定、改廃に関することをはじめとする運営に必要な事項の決定

##### ・ 事務局

県民有志を含む数名で構成（事務局長：県行政経営改革室長）。

主な役割は運営会議の決定事項に基づき運営に必要な実務の実施

### 5. 取組の成果

- ・ 電子掲示板でのコミュニケーションをきっかけに、お母さんたちがてづくりで子育て講演会を開催するなど具体的な活動に結びついた事例が出てきた。

- ・ これまで行政主催の会合などに参加しがたかった層の参加が見られるなど、県民と行政、県民同士の意見交換の新たなチャンネルとして機能しつつある。
- ・ 県民が県政を身近に感じることでできるきっかけづくりを提供している。

## 6. 今後の課題

- ・ 「ぷらっとこうち」の更なる認知度の向上
- ・ 県職員の積極的な参加の促進（現在の県職員の全体に占める割合は約 21 %）
- ・ 設置目的であるこれからの新しい協働による県政の推進の基礎となる官民双方の意識改革を進めていく必要がある。県は経営品質を基本とする顧客志向の概念を積極的に取り入れるとともに、県民には一方的な要望型や追求型の意見では、課題の解決につながらないことを伝え、建設的な掲示板や電子会議室の運営を図る。